

私
たち

monde
indifférent
nous a voulu
MURIR
il faut que tu nous
EMPECHES
Fais quelque chose!

誰も止めなければ
死んでしまえます。

★第41回ヴェネチア国際映画祭・銀獅子賞受賞

ソナチネ

◆ミシュリーヌ・ランクト監督作品◆

バスカル・ブスイエール◆マルシア・ピロト◆ピエール・フォト◆ポリーナ・ラボワント

製作 ピエール・ジャンドロン◆製作総指揮/ルネ・マロ

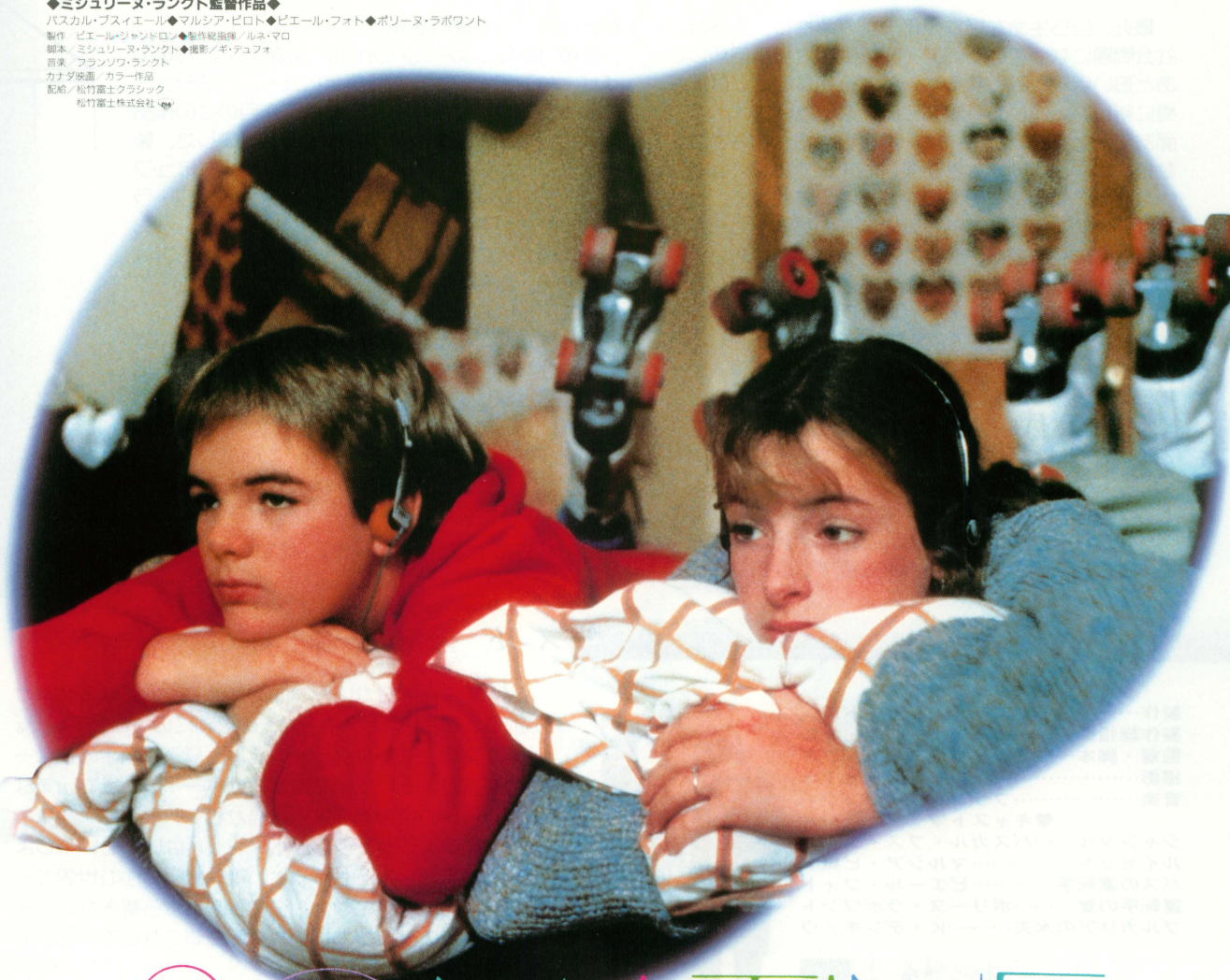
脚本 ミシュリーヌ・ランクト◆撮影/ギ・デュフォ

音楽 フランソワ・ランクト

カナダ映画 カラー作品

配給/松竹富士クラシック

松竹富士株式会社



SONATINE

松竹富士クラシック

1500円

松竹富士株式会社

ソナチネ

S
O
N
A
T
I
N
E



か・い・せ・つ

最近、自ら生命を絶つ少年少女が急増し、大きな社会問題になっている。アイドル歌手が投身自殺し、あと追い自殺とみられるケースが続発したことは記憶に新しい。いじめ、愛情に飢えていた、大人への面あて、叱られたから……。推察されるさまざまな動機。しかし「動機なき自殺」も決して少なくはないはずだ。10代特有の傷つきやすい心にとって、現代社会は刺激の強すぎる世界に映るのだろうか……。

「ソナチネ」は色あざやかな服を身にまとった2人の少女の、社会に対する挑戦とも言うべき過激な行動を描いた作品だが、その動機は明らかではない。美しい街モントリオールのバス、船、地下鉄という交通機関を舞台に、まるで遊びのように睡眠薬をおおる2人を淡々と描き、観る者に親子関係、友情、そして死について考えさせずにはいられない映画である。これは、子供たちから送られた、社会に対するひとつのメッセージなのだ。

カナダの中でも独自のアイデンティティを持つケベック文化をバックにしているだけに、同じ10代を主人公にした映画でも、青春を謳歌する軽快な作品

群とは際立った違いを見せている。

監督・脚本にはアニメの作画、女優を経て'79年の『ザ・ハンティマン』で監督デビューしたミシュリーヌ・ランクトがあたり、彼女は二作目のこの作品で、ヴェネチア国際映画祭銀獅子賞を受賞した。製作はピエール・ジャンドラ、撮影はギ・デュフォ、そして音楽はミシュリーヌの弟フランソワ・ランクトがそれぞれ担当した。

主演の2人の少女は、ともに650人の中から選ばれた新人。撮影当時、シャンタル役のバスカル・ブスイエールは14歳、そしてルイゼット役のマルシア・ピロトは15歳だった。思春期の少女の持つみずみずしさや揺れ動く繊細な心、そして無邪気さをともに生き生きと演じ、スクリーンいっぱい魅力を溢れさせている。

(カナダ映画/カラー/1984年製作/1時間31分)

★第41回ヴェネチア国際映画祭・銀獅子賞

配給 松竹富士クラシック/松竹富士株式会社

ストーリー

ソナチネとは短い奏鳴曲のことで、多くは3楽章から成り、映画「ソナチネ」もその形式にのっとっている。

第1楽章では美少女シャンタルとバス運転手の週に一度の交流が、そして第2楽章ではボーイッシュで元気なルイゼットの束の間の家出が描かれている。

第3楽章。シャンタルとルイゼットはいつもいっしょの親友同志。2人ともうるさい親や教師の住む世界から逃れるために、常にウオークマンを耳から離さない。そして少し背のびしたおしゃれな服を着こなして、ささやかな自己主張をしている。

ある日、2人は学校の医務室から睡眠薬を盗み出し、「私たち誰も止メナケレバ、死ンデジマイマス」と大きく書いたプラカードを作った。そしてそれを片手に、「あるゲーム」を試みるために、地下鉄に乗り込んだ……。

♥スタッフ♥

製作……………ピエール・ジャンドラ
製作総指揮……………ルネ・マロ
監督・脚本……………ミシュリーヌ・ランクト
撮影……………ギ・デュフォ
音楽……………フランソワ・ランクト

♥キャスト♥

シャンタル……………バスカル・ブスイエール
ルイゼット……………マルシア・ピロト
バスの運転手……………ピエール・フォト
運転手の妻……………ポリヌ・ラボワント
ブルガリアの水夫……………K・デンチェヴ



10月中旬め独占ロードショー!

特別鑑賞券1200円(当日一般1500円/学生1300円の処) 絶賛発売中!

●都内各プレイガイド、チケットセゾン、チケットぴあ、セゾン系各劇場でお求め下さい。

●グループ鑑賞のお申し込みは(株)メイジャーまで。電話 03(541)2508 自由席定員制・入替制

シネセゾン 渋谷

渋谷道玄坂ザ・プライム 6階 ☎03(770)1721

| ⑩追加 | 連 | 日 | ④追加 |
|-------|-------|------|-------|
| 10:20 | 12:30 | 2:40 | 4:50 |
| | | | 7:00 |
| | | | ⑨9:00 |